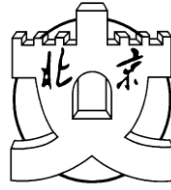
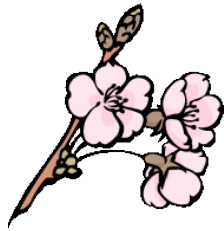


かささぎ



北京日本人学校
学校通信 3月号
平成30年3月7日
校長 奥田 修也



年度末を迎えて

校長 奥田 修也

平成29年度もあと数日、という時期になりました。ある昼休みに、校長室に暗唱に来てくれた子どもたちとの会話です。

「校長先生、わたしね、春休みに日本に帰るんだよ。」

『一時帰国なの？』

「ううん、本帰国なの。」

『そうかあ、残念だね。』

「でも、日本に帰ると楽しいこともあるよ。幼稚園の時の友達にまた会えるし。」

「わたしも、3月から日本なの、でもねえ、1年したらまた、北京に来て、この学校に戻ってくるよ。」

『そうなの、それは、いいねえ。』

「校長先生も日本に帰っちゃうんでしょう？ そうしたら暗唱はどうなるの??」

『大丈夫だよ、新しい校長先生にお願いしておくから。』(つもりです・・・)

さすが、日本人学校、いろいろな動きがありますね。

例年のこととはいえ、寂しいものです。しかし、4月になれば、子ども、保護者のみなさん、教員、多くの方が期待と不安を抱えて新しくここへやってきます。日本人学校は『常に流れていく学校』、新しいエネルギーが次から次へと入り込み、新たな芽吹きを促してくれる、そんなイメージをもっています。子どもたちには、たとえ1年しかこの学校に在籍していなくても、誇り高い北京日本人学校に学んだ子として、これからの世の中の一部をしっかりと担って、自分なりの活躍をしてほしいと心から願っています。

保護者のみなさん、大使館、運営理事の方々をはじめとする北京日本人社会の皆様、この1年間、本校の教育活動に対するご理解とご支援、本当にありがとうございました。



次に私的な内容で申し訳ありませんが、私のこの学校での3年間も終わろうとしています。私の心を温めてくれた言葉から二つ。

①「校長先生、もうやっちゃいなさいよ！人工芝。子どもたちのためなんですから！」

(多額の出費に2, 3回理事会でためらっていた私に、ある理事の方から)

②「学校正門前で校長先生とのおしゃべり、本当に楽しかったですよ。何より私は不安をもった私自身の心を助けていただいたと思っています。」(転出直前の朝、校門前で子どもを送りに来たお母さんと)

(ほかにも、北京に来て良かったと思われたステキな言葉はいっぱいありましたが、とても載せきれません)

子どもたちが大好きになる学校、保護者の方が安心して通わせることができる学校、そして世界に向けてその良さを発信できる学校を目指して、これからも北京日本人学校の職員は絶え間ない努力を続けていきます。変わらぬご支援をよろしくお願いいたします。

卒業を前にして

小学部 6年

6年生は、この1年間、学年目標「One for All, All for one～一人はみんなのために みんなは一人のために～」という合い言葉を胸に、小学部のリーダーとして努力してきました。たてわり班遊び、委員会活動などで1回ごと頼もしくなっていました。学習発表会や運動会、修学旅行などの行事では、徐々に自分たちで考えたり、行動したりする場面が増え、大変さと同時に、自分たちで作上げたという喜びを味わうことができました。また、校外学習や交流学習では、日本と中国、韓国の関係について、より深く考えることができました。北京日本人学校での経験が、これからの人生においてさらに豊かになっていくことを期待しています。

将来は、日本のみならず、「この地球のどこかで」輝いている人になってほしいと思います。自分に自信をもって、そして、夢と希望をもって、世界へ羽ばたいてください。

最後に、お子さんの成長を見守り続けるとともに、本校の教育活動にご尽力いただいた保護者の皆様、本当にありがとうございました。

中学部 3年

卒業まで残すところ本当にわずかとなりました。皆さんにとってどんな1年だったのでしょうか？学校のリーダーとして活動したり、自分の進路に向き合ったり、たくさんの経験ができた1年間だったのではないのでしょうか。ここまでの道のりには、仲間はもちろん、家族の方を含め、多くの方々が皆さんを支えてきてくださいました。感謝の気持ちを忘れずに、笑顔で卒業式を迎えましょう。卒業に向けてGReeeeNの「pride」という曲の一節を送ります。

365日頑張り返けて この先何があるか不安だけれど 自分で決めた道 忘れない
こぼれた涙の色 この空の青 輝いて見えていたよ この手に たくした夢の かけら集めて
大丈夫 信じた証が『今』 どんなに苦しい時でも 弱音を吐く方が悔しい
絶対 限界なんて言わないと決めた どんなに悔しい時でも 立ち止まる自分が苦しい
未来の 僕らに 気付いた日からずっと 憧れていた 追いかけていたい 負けない心と 諦めない勇氣
例え少しでも 走り続ける事で 道標が変わる 必ず さあ進もう
どこまでも続く道 果てなく 遠く 僕らが目指した場所が待たろう
手を伸ばしたら つかめそうだろう 信じてる 僕らの輝きを ああ 夢があるから 生きていけるから
それでいい 胸を張って 『ありがとう』 あの日の声も 今日の涙も 忘れない 輝く未来へと

ただいま 何人？



小学部 平成30年3月7日現在

	男子	女子	合計		男子	女子	合計
1-1	7	8	15	4-1	12	10	22
1-2	9	8	17	4-2	11	11	22
1-3	8	8	16	5-1	14	10	24
2-1	9	8	17	5-2	14	10	24
2-2	7	10	17	6-1	9	10	19
2-3	9	9	18	6-2	9	8	17
3-1	14	9	23	小総計	145	129	274
3-2	13	10	23				

中学部

1-1	10	7	17	3-1	6	6	12
1-2	10	6	16	3-2	6	6	12
2-1	7	8	15	中総計	46	40	86
2-2	7	7	14	総合計	191	169	360

※本年度をもちまして小学部54名、中学部6名、計60名が本校を退学する予定です。

離任者のあいさつ

校長 奥田 修也

来たときからずっと同じことを言ってきました。「この大気汚染さえなければ北京は本当に住みよい、いいところですよ。私は死ぬまでずっと暮らしてもいいと思います。」ここ半年、こんなに空気がきれいになってきたら、どうしたらいいんでしょう。かわいい小学生、気持ちの良い中学生、懸命で賢明な保護者の方々、頼れる職員たちに囲まれて、幸せで充実した3年間でした。自分では、やり切った感あり、です。ありがとうございました。

玉井 咲帆

子どもたちもそして職員も入れ替わりの多い北京日本人学校で、たくさんの人と出会いました。その一つひとつが私にとっては何れも濃く、忘れられないものとなりました。今度はその数だけ別れを経験することになるのかと思うと大変寂しい思いでいっぱいです。北京での3年間は毎日がとても楽しく、私は北京日本人学校が大好きでした。そんな風に過ごせたのはいつも笑顔と元気をくれる子どもたち、そして温かく見守り支えてくださった保護者の皆様のおかげです。心から感謝しています。今までありがとうございました。

池上 久子

どんな子ども達との出会いが待っているのだろう、胸躍らせて赴任してきた日が、昨日のことのようです。定年退職後の最後の教師生活を、ここ北京日本人学校で担任として過ごさせていただきました。素直で優しい心を持った素敵な子ども達と、どこまでも協力を惜しまないご保護者の皆様との出会いに感謝の思いで一杯です。本当にありがとうございました。

この2年間は、中国社会が大きく変化する時でもありました。縁あって北京で過ごした子ども達一人一人が、更に発展しゆく中国と日本のかけ橋となり、平和を創りゆく大人材に成長してほしいと願っています。

前田 里恵

長い3年間になると覚悟して赴任した3年前が昨日のように思い出されます。このたった3年の間にも、中国や学校の設備はどんどん発展し、大気の問題も含め、年々過ごしやすくなりました。中国に住んで感じた中国の良さ、日本を離れて改めて感じた日本の良さがあり、子どもたちもそれぞれがしっかりと感じ順応している姿に、たくましさを感じました。この3年間、子どもたち、保護者の皆様、同僚の先生方、中国人スタッフの方々に支えていただき、「感謝」という言葉しかありません。ここで学んだ貴重な経験を、次は日本で活かし、中国の良さを子どもたちに伝えていきます。本当にありがとうございました。謝謝！

濱田 聖矢

3年前、北京に赴任した時に感じた、乾燥した空気、ほこりっぽい匂い、かすんだ空、舞い上がる柳絮のことを昨日のように覚えています。私は宇宙の事が好きなのでたまに話すと、子どもたちは興味を持って本で調べたり、聞きに来てくれたりしてとても嬉しかったです。

時には悩み苦勞することもありました。しかし、いつも一生懸命に取り組み、日々成長する子どもたちと温かく見守って下さる保護者の皆様のおかげで、楽しく過ごせることができました。3年間、子どもたちの成長を見ることができてとても嬉しかったです。本当にありがとうございました。

坂本 貴之

3年前、北京日本人学校の体育館に来て、みんなの前で話をした時、大きなあいさつ温かい拍手で迎え入れてくれた時のことを昨日のことにように思い出します。3年間、4年生や5年生を担当させていただきました。パーティーしたり、クラスマッチしたりと、毎年心に残るクラスばかりでとても嬉しかったです。また、授業では中学生の数学も担当して、とてもよい経験になりました。自分の心にはJ S B魂がやどっています。北京で多くの方々に出会えたことを感謝しています。またいつかどこかで出会えることを楽しみにしています。本当にありがとうございました。

三浦 広輝

3年間に及ぶ北京日本人学校の勤務でしたが、こちらに着任した日のことが、昨日のことにように思い出されます。ワクワクよりドキドキが多かった、2015年の着任式。担任発表後、小学部2年2組の前に行くと、先頭の児童が握手を求めてきました。そこで緊張も一気にほぐれました。この3年間で、子供たちの笑顔や優しさに触れ、計り知れないパワーをもらいました。谢谢大家！帰国後は国際理解教育を始めとした様々な教育活動を、自らの体験を伴った幅広く奥深いものにし、日本の子供たちのために尽くしていきます。3年間、本当にありがとうございました。

猪狩 志乃

北京日本人学校のみなさんから沢山の感動をもらうことができました。それは何事にも一生懸命なみなさんが輝いている姿です。人は輝くと自信になり、その自信が更にステップアップさせてくれます。そして、周りの人の心を動かすことができる！！いつでも向上心を忘れずに、日々感動する気持ちを持って生活して欲しいと思います。保護者の方々には、様々な面でご協力をいただき感謝の気持ちでいっぱいです。廊下や下校中にお話する時間は密かな私の楽しみでした。また、同僚のみなさん・スタッフのみなさんと共に過ごした5年間はかけがえない宝物です。本当にありがとうございました。最後に…音楽は『美』を追求する教科です。みなさんはいつでも真摯に音楽と向き合い『美』を見つけ出してくれました。その力は本当に素晴らしいことです。そんなみなさんと授業をできた私は本当に幸せです。

♪歩いて行く道はきっと違うけれど、同じ空を見上げているから、この地球のどこかで♪

中脇 尚子

3年間の学校生活を振り返った時一番私の心に焼き付いていることは生徒の皆さんの日々の姿です。日本の暮らしとは違う事も多い中で今できること、ここでしかできないことに目を向け笑顔で過ごす皆さんの姿はいつも私に大きな力をくれました。また保護者の方々の優しさに助けられたことも1度や2度ではありませんでした。



海外で暮らす日本のお子さまの力になれば…と思い希望した日本人学校での勤務でしたが、3年間ずっと助けられ成長させてもらったのは私でした。皆さんからいただいたものを少しでも日本に伝えていくことが今後の私の役割だと思っています。いつか恩返しができるよう…日本に帰ってから頑張ります。3年間、本当にありがとうございました。

石山 友範

あっという間の3年間でした。特に、この1年は、本当に早く感じました。何事にも前向きに取り組む中学部の生徒たちに毎日たくさんのパワーをもらいました。また、いつも温かくご支援いただいた保護者の皆様にも感謝の気持ちでいっぱいです。ここで学んだこと、経験したことを活かして、故郷新潟で明るく、元気に、笑顔で頑張ります。本当にお世話になりました。ありがとうございました。

中西 大

あれよあれよと毎日が過ぎ、ウツとなった苦難を超え、最後の最後に「おっとどっこい」の展開で、何事も初体験の3年間でした。本当に心のいい、お子たちと過ごせた日々は、夢のようでした。今後はまた初心に帰り、⑦愛情、⑧命、⑨運、⑩縁、⑪恩を大切に、ここでいただいたご縁を一生の宝物として、全ての方への恩返しのつもりで、誰かの役に立てるよう生きていきたいと思っています。たくさんの楽しい思い出と優しさをいただき、ありがとうございました。

佐伯 知子

着任した翌日、私を迎えたPM2.5で霞む真っ赤な朝日。追い打ちをかけるように柳絮が舞い上がり、交差点にはあらゆる方向から車が突っ込み「とんでもない所へ来てしまった！」と思ったものです。あれから3年、澄み切った青空の下でこれを書いています。北京がダイナミックに進化していく様子を肌で感じる事ができ、忘れられない日々になりました。

そして熱心に授業に耳を傾け、課題に全力で取り組む素晴らしい生徒達との出会いは教師人生において何物にも代えがたい宝物です。旺盛な好奇心と知識欲を様々な体験を通して育ててこられた保護者の皆様のおかげと感謝しています。彼らはこれからは夢に向かって前進し続けることでしょう。私もこの北京での思い出を胸に前進してまいりたいと思います。3年間本当にありがとうございました。

照井 彩佳

わくわくした気持ちで2年前の4月に北京に赴任しました。それとは逆に、どのように子どもたちと関係を築いていこうかという気持ちも強くありました。しかしそんな気持ちを、素敵な笑顔と温かい心をもっている北京日本人学校の子どもたちに、ふっと取り除いてもらったことは心の中に大きく残っています。出会いは素晴らしいなと感じました。

北京で多くの方と出会えたことは大きな財産だと感謝しています。また巡り合わせが訪れることの期待を胸にしまっておきます。2年間、本当にありがとうございました。